

社会科学学習指導案

単元名 「国土の気候の特色」（第5学年）

令和4年6月16日（木）第5校時 5年1組教室

下仁田町立下仁田小学校 5年1組

<授業改善の視点>

【深い学びに関する視点】 学級全体でスライドを見て良さや改善点について考えることは、情報の整理や表現をよりよくするために有効であったか。	【ICTの活用に関する視点】 ICT 端末を活用して学習内容をまとめることは、児童が興味をもてる課題を設定し目的意識を明確にして学習することに有効であったか。
--	---

I 単元の構想

1 単元の目標（育成を目指す資質・能力）および児童の実態

	単元の目標	児童の実態（23名）
知識及び技能	①我が国の気候の概要について理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。 ②地図帳や地球儀、資料集やインターネットなどの資料で調べ、まとめることができる。	
思考力 判断力 表現力等	・気候に着目して、自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、その特色を考え、表現することができる。	
学びに向かう力、人間性等	・我が国の気候について、予想や学習計画を立て、主体的に学習の問題を解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしたりする態度を養う。	

2 評価規準

【知識及び技能】

①我が国の気候の概要について理解し、人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。 (1)ア(イ)

②地図帳や地球儀、資料集やインターネットなどの資料で調べ、まとめている。 (1)ア(ウ)

【思考・判断・表現】

・気候に着目して、自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、その特色を考え、表現している。 (1)イ(イ)

【学びに向かう力、人間性等】

・我が国の気候について、予想や学習計画を立て、主体的に学習の問題を解決しようとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

3 単元及び指導方針 ※指導に生かす評価○ 評定に用いる評価●

時	過程	学習活動	評価			指導方針・ICT活用
			知	思	主	
1	つかむ	単元の課題を把握する。			○	・学習の必要性を感じられるようにするために、興味をもてる課題を設定し、タブレットで紹介するスライドを作ることを知らせる。 単元の課題 日本各地の気候の違いを知って、訪れてみたい地域のツアーガイドをしよう。
2	追究する（前半）	単元の課題の解決に向け、追究する。 インプット	①	○		・気候の様子が具体的につかめるようにするために、気温と降水量を表した グラフに絵図や写真等をつなげて表現 することを促す。 ・6つの気候の違いを確実につかめるよう、同じ気候を課題に選んだ友達と 共有ノートのシンキングツール で整理しおさえるようにする。 ・日本の特徴的な気候の様子がつかめるように、自己課題以外のテーマについてまとめた 友達のプレゼン を聞かせる。
3			②			
4	追究する（後半）	単元の課題について、理解したことをまとめ、表現する。 アウトプット	①	●		・自分の学びの足跡からポイントとなることを選んでスライドに盛り込めるように、学習ノートを見返してマークやチェックを入れる。 ・児童が伝えたい社会的事象を説明したスライドを作れるようにするため、学びのまとめに適した グラフや地図、写真等の資料を紹介 したり 友達に紹介 したりする機会を設ける。
5 本時			②			
6	まとめる	単元の学習についてまとめる。			●	・日本の気候の特色を再確認したり、ポイントを絞った表現や伝えることのように触れたりできるように、既習の6つの気候区分について友達がまとめた スライドを視聴 する。

II 本時の学習

＜本時で身に付けさせたい資質・能力＞

既習事項を活用して、気温や降水量のグラフ、特色となる起因等4つのポイントを押さえてスライドにまとめ表現する力
 ＜手立て＞ 学びのまとめに適したグラフや地図、写真などの資料を紹介したり友達に紹介して内容を確認させたりして、自分が伝えたい社会的事象について説明するスライドを作らせる。

学習活動（発問・児童の反応）		時	指導上の留意点（ノート指導）・ICT活用
1 本時のめあてをつかむ。 ・既習事項や前時に確認したノートを見返して、自分が伝えたい内容を思い出し、解決の方向を見つめ直す。 ＜めあて＞スライド作りを通して、日本の気候の特色をどう伝えようとよいだろうか。		5	○既習の内容を思い出せるよう、授業でまとめた気候区分のスライドを大型提示装置で掲示する。 ○特徴的な気候の起因（地形、季節風等）についても図解させて、ただのおススメにとどまらないようにするため、日本の気候や季節の違いの面白さにさらに気付いてもらえることを知らせ工夫することを促す。
2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、スライドにまとめる。 ○課題が同じ友達に自分のスライドをプレゼンし、内容について話し合う。 T：同じテーマの仲間にスライドを紹介し、伝えたい特色が入っているか確認してもらいましょう。 S：日本海側の気候は冬に雪がたくさん降ることなんだけど、表現できているかな。 S：降水量のグラフで分かったよ。 ○友達の意見を参考に、スライドの続きを作成する。		20	○同じテーマの友達が分かるように、前時の作成開始時からグループを明確にしておく。 ○スライドに盛り込むことが何か、思考の整理ができるように、大型提示装置にポイントを示しておく。（スライドを以下の4枚にし、効率化とデータの活用を図る） ・6つの気候区分名、都道府県や都市名 例：「太平洋側の気候」 静岡 ・気温と降水量のグラフ ・特徴となる起因 例：地形、季節風、緯度など ・特徴を示す該当地域の写真やイラスト
3 作成したスライドを仲間と紹介し合い、改善されたか、話し合う。 S：地図が入って位置が分かりやすくなったね。 ＜学習を深める問い＞ 4 学級全体でさや改善点について考察する。 T：友達のスライドからよい表現だなと思ったところと理由を紹介してください。 S：○○さんのスライドは気候の特色だけでなく、それに合わせて訪れるとよい季節があったので、すごいなと思いました。 T：○○さんはなぜそう表現しようと思いましたか。 S：この季節の方がこの地域のよいところにつながると思ったからです。 S：なるほど、その気候がその地域の魅力でもあるってことだね。 S：季節のおすすめは旅行の参考になるね。		15	○めあてが達成できたか確認できるよう、初めに話し合った仲間と再度スライドを紹介し合う。 ○児童からの推薦だけでなく、めあてを意識してスライドを作成していたり、さらに工夫して表現したりしている児童を取り上げて全体共有し、同じテーマでまとめているも、個々の表現によって印象が変わる面白さや地域の魅力にも触れられるようにする。 【評価規準】 【知識・技能】（スライド・発言） ②地図帳や地球儀、資料集やインターネットなどの資料で調べ、まとめている。
5 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。 ＜まとめ＞ 図や写真を入れたり、どこのことか分かるように地図で示したりするとよい。		5	○本時は仕上げの時間ではあったが、より一層改善したい思いをくみ取るため、空き時間を利用して作成してみてもよいことを知らせる。
＜振り返り＞（視点：よくできたこと・次に生かせそうなこと） S：アドバイスを生かしてスライド作りができた。 S：おすすめの季節を入れてみたい。			
既習事項	＜板書＞ ① スライド作りを通して、日本の気候について知らない外国の方に、どう伝えようとよいだろうか。 ② 伝えたいこと ・気候の特色を分かりやすく ・なぜその気候が起こるのか。 ③ 図や写真を入れたり、どこのことか分かるように地図で示したりするとよい。 ④ よくできたこと、次に生かせそうなこと		＜大型提示装置＞ ・6つの気候区分地図 ・前時に提出スライドの一覧 ・4枚のポイント表示 ・全体交流時のプレゼン児童の画像 等を必要時に提示

